



シオノギの現状

野村インベストメントフォーラム 2008

平成20年12月2日

塩野義製薬株式会社

代表取締役社長 手代木 功



塩野義製薬株式会社

将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制機関からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

第二次中期経営計画

第一次中期経営計画

(2000年4月－2005年3月)

～医療用医薬品事業へ集中するための基盤整備～

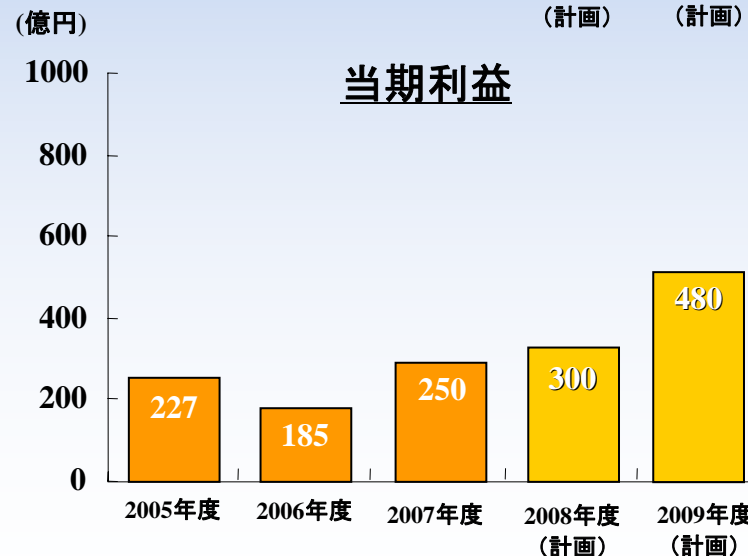
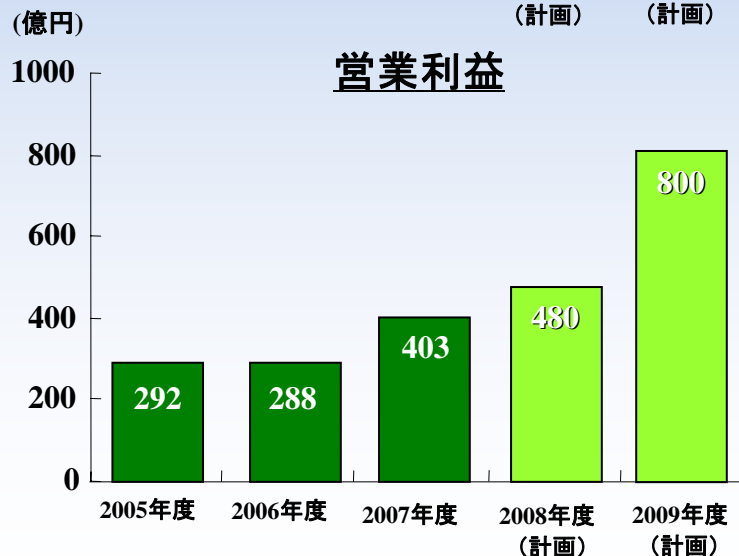
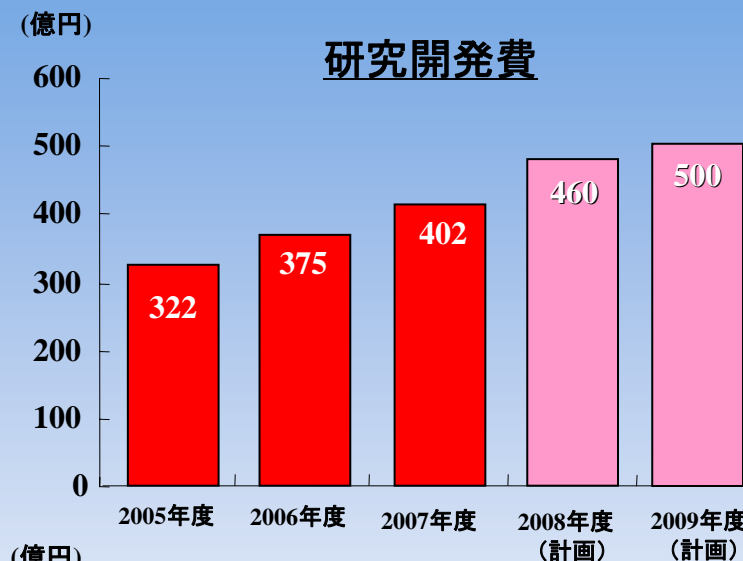
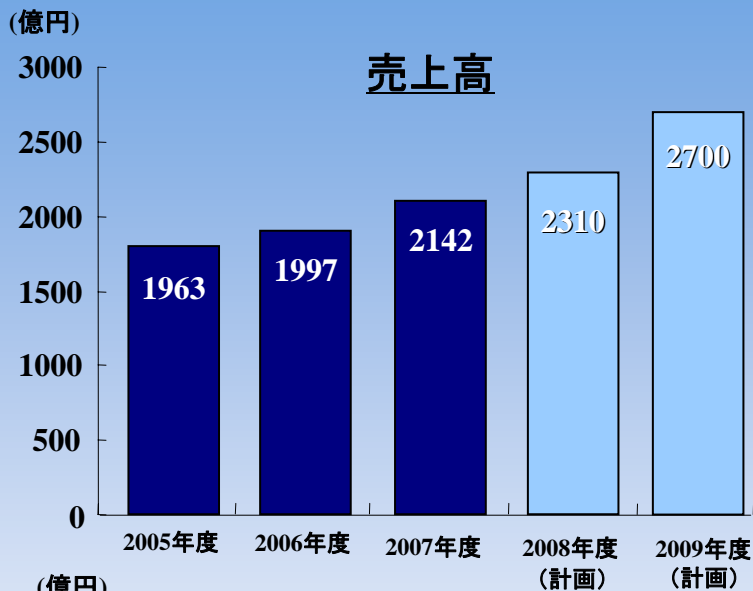
第二次中期経営計画

(2005年4月－2010年3月)

～飛躍への胎動～

- クレストール®の最大化（ロイヤルティおよび国内売上）
- 研究開発の活性化
- 国内市場での新製品の上市（期間中10製品の上市を予定）

第二次中期経営計画の数値目標(連結)

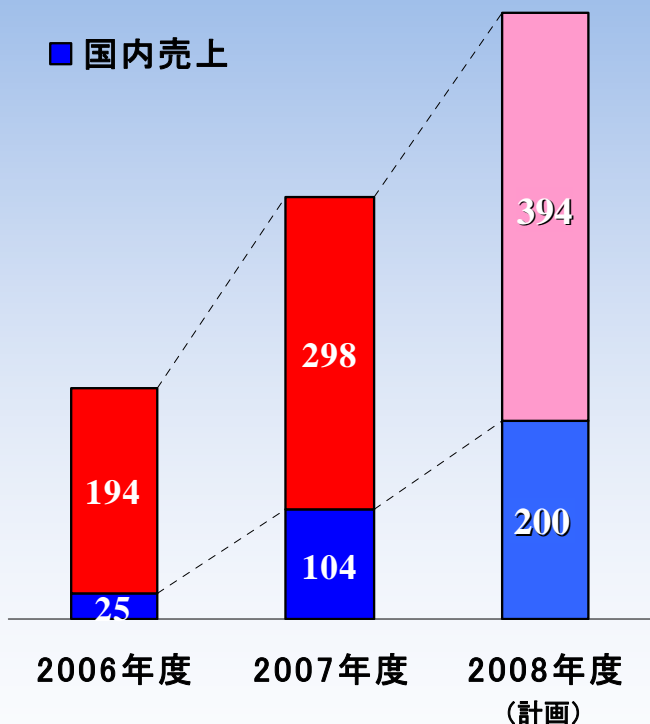


クレストール®の拡大

国内売上・ロイヤルティ収入の拡大

(単位:億円)

■ ロイヤルティ収入
■ 国内売上



● ロイヤルティ収入

▪ AstraZeneca社によるグローバルセールスの拡大

(単位:十億ドル)

クレストール 売上高 (グローバル)	2006	2007	1Q-3Q 2008
	2.0	2.8	2.6

● 国内販売

▪ 販売シェアの順調な拡大

(単位:%)

	2006	2007				2008	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
クレストール (国内合計)	4.0	5.3	7.0	8.5	10.5	11.2	12.8

(薬価ベース)

◆ JUPITERの結果により、更なる拡大へ

パイプライン一覧(2008年12月現在)

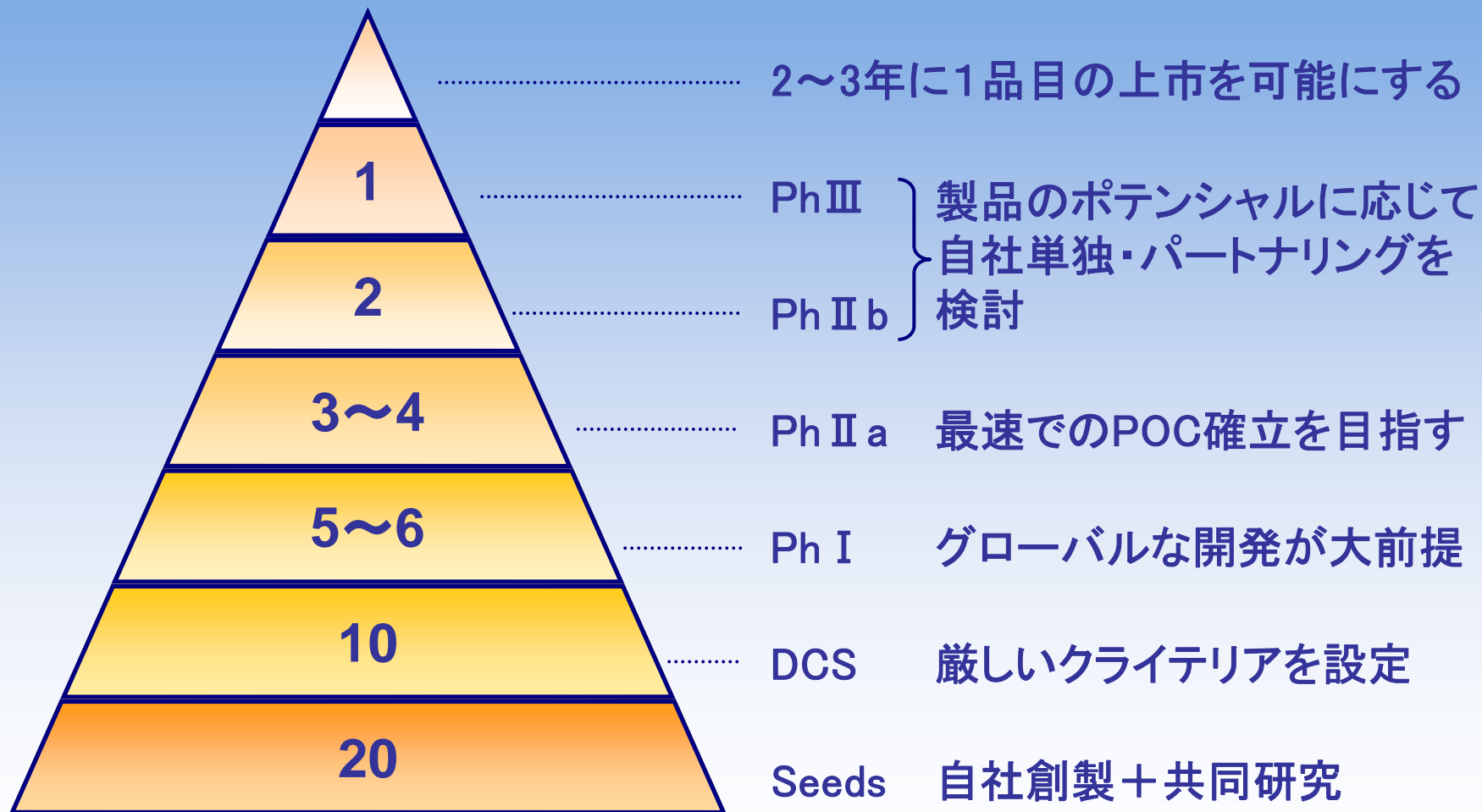


	Ph I/Ph IIa	Ph IIb	Ph III	申請	上市
重点3領域 感染症		S-013420 (細菌感染症)	フィニバックス® (小児感染症)	ドリペネム (US RTI)	ドリペネム (US cIPI, cUTI)
			フィニバックス® (用法・用量追加)		ドリペネム (EU RTI, cIPI, cUTI)
	S-349572/S-265744/ S-247303 (HIV感染症)		S-021812(ペラミビル) (インフルエンザ)		フィニバックス® (2005年度)
疼痛			デュロキセチン (DNP)		アベロックス® (2005年度)
			S-811717 (オキシコドン注)		オキノーム® (2006年度)
MS		S-2367 (肥満)			クレストール® (2005年度)
		S-3013 (動脈硬化)		(2008年7月発売)	イルベタン® (高血圧症)
フロンティア領域 アレルギー		S-777469 (アトピー性皮膚炎)			クラリチン® ドライシロップ (2007年度)
	S-555739 (アレルギー疾患)				
その他	S-888711 (血小板減少症)			(2008年10月承認)	ピレスパ® (特発性肺線維症)
	S-0373 (脊髄小脳変性症)			(2008年10月発売)	ディフェリン® (にきび)
	S-222611 (悪性腫瘍)	S-0139 (脳血管障害)		デュロキセチン (うつ)	→ (2009年度)
		NS75A (子宮筋腫)	NS75B (前立腺肥大症)		セトロタイド® (2006年度)

RTI: 呼吸器感染症, cIPI: 複雑性腹腔内感染症,
cUTI: 複雑性尿路感染症, DNP: 糖尿病性神経因性疼痛

自社品
導出品
導入品
 自社創製グローバル開発品

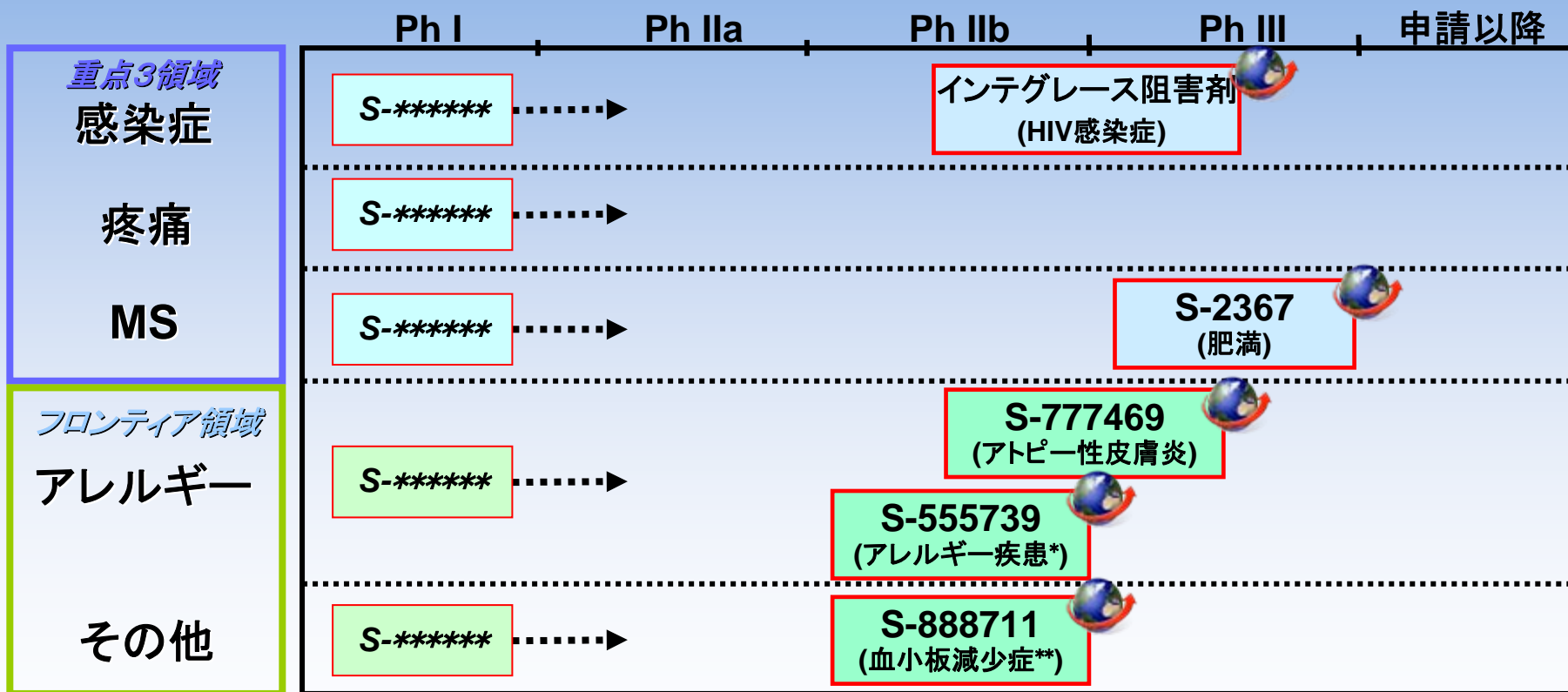
自社パイプラインの目指すイメージ



DCS: Drug Candidate Selection, POC: Proof of Concept

自社創製のグローバル開発パイプライン: 目指す開発状況(2009年度末)

- 自社品の臨床開発が順調に進展
- 海外での販売体制の整備が急務となりつつある状況



* アレルギー性鼻炎, 喘息等

** 特発性血小板減少性紫斑病, C型ウイルス肝炎, 癌化学療法等

 自社創製グローバル開発品

国内市場での新製品の上市

(第二次中期経営期間中10製品の上市を予定)

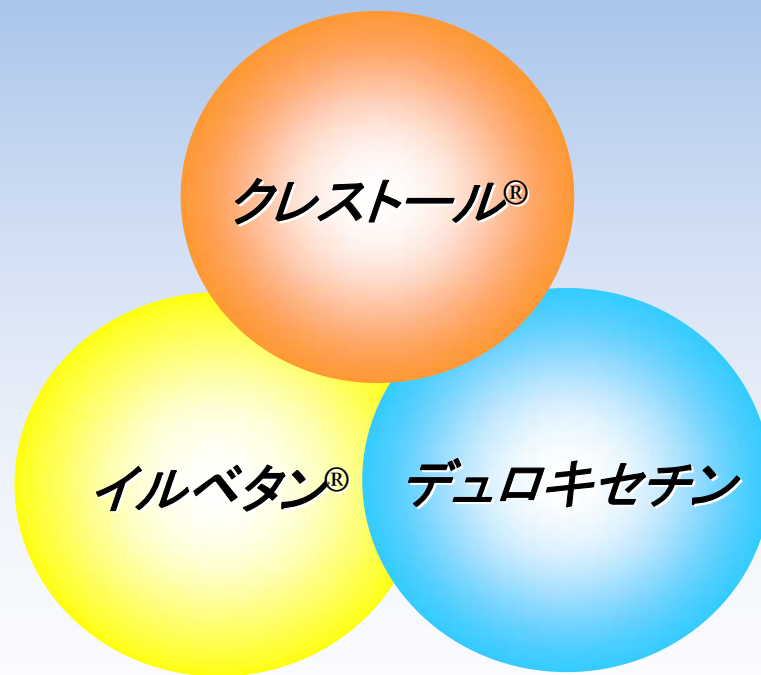
(2008年12月現在)

申請

上市

重点3領域	申請	上市
感染症		フィニボックス® (2005年度)
		アベロックス® (2005年度)
疼痛		オキノーム® (2006年度)
		クレストール® (2005年度)
MS		イルベタン® (高血圧症) (2008年7月発売)
		クラリチン® ドライシロップ (2007年度)
フロンティア領域 アレルギー		
その他	ピレスパ® (特発性肺線維症) (2008年10月承認)	
		デュロキセチン (うつ) → (2009年度)
		ディフェリン® (にきび) (2008年10月発売)
		セトロタイド® (2006年度)

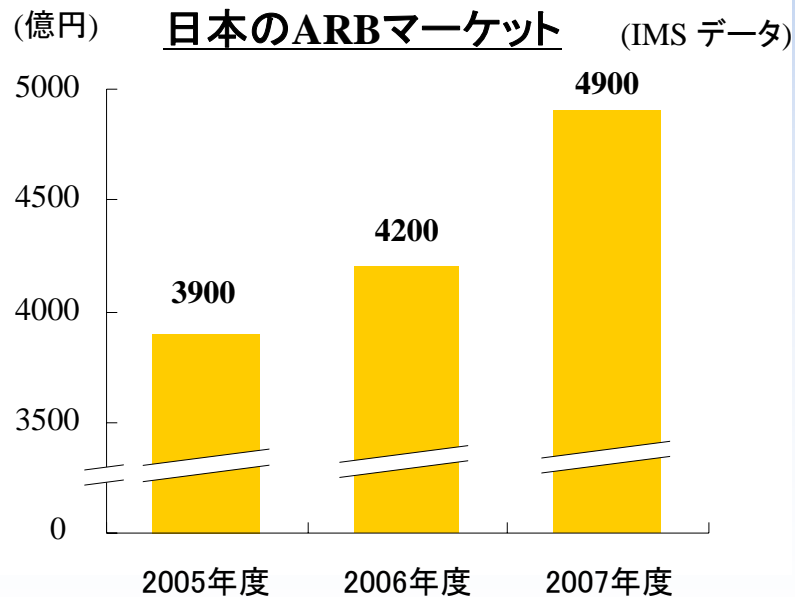
- 2010年以降の成長ドライバー



2010年以降の成長ドライバー

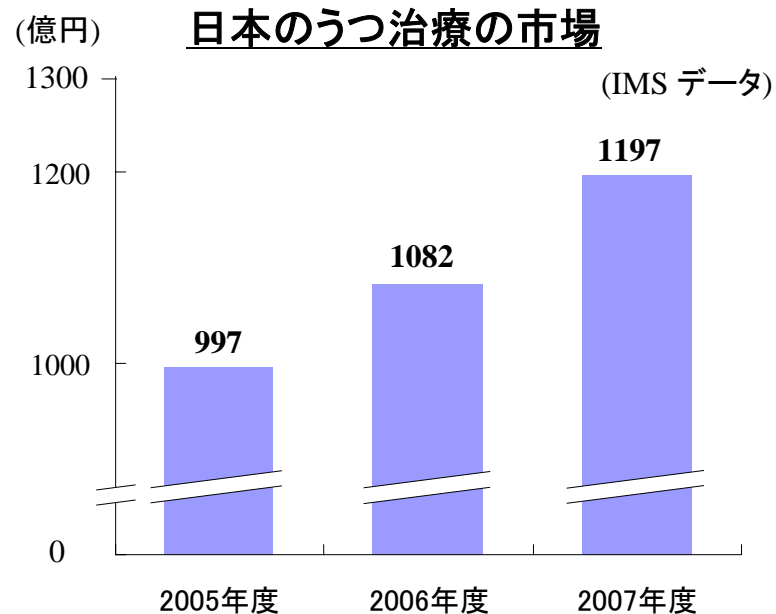
イルベタン® (高血圧)

- ◆ サノフィ・アベンティス社とブリストル・マイヤーズ社により、109ヶ国で承認、86ヶ国で発売
- ◆ 日本のARB* 市場は毎年2ヶタペースで成長



デュロキセチン(うつ&DNP)

- ◆ うつの適応で90ヶ国以、DNP(糖尿病性神経因性疼痛)の適応で70ヶ国以上の国で承認
- ◆ 日本のうつ治療の市場は急速に拡大



シオノギの海外戦略

第二次中期経営計画

- 2009年度末にはPhase II 以降に最低5品目以上を創出
- 日米欧3極で複数の自社製品を同時開発
- 製品毎に戦略的なアライアンスを継続的に展開

中長期的な課題

- 米国での販売体制の確立
- 継続的な自社パイプラインの拡充
- グローバル化に対応できる人材の育成



Sciele Pharmaの買収によるグローバル化の加速

買収による効果

- 自社パイプラインを米国において自社販売することによる収益力の向上
 - 700名超のMRIによる全米での販売網
 - 米国での上市・販売に関する優秀なノウハウの活用
 - 当社の重点領域である循環・代謝領域における販売面の強み
- 米国における開発活動、インライセンス活動の機能強化
- 製造関係の技術情報の交換によるグループとしての原価低減
- 税務ストラクチャーの最適化による節税効果
- 米国での事業運営のインフラ整備
 - マーケティング、薬事、アドミ関係の機能強化

買収による損益への影響

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
<Sciele 業績予測>				(百万ドル)
売上高	105	500	650	780
営業利益	30	140	200	250

※ 2008年度は10月～12月

<買収に伴う影響>				
金融収支の増減	L 約10億円	L 約20億円	L 約20億円	L 約20億円
IPR&D、無形固定資産、のれん等	確定後速やかに各年度への影響について公表			

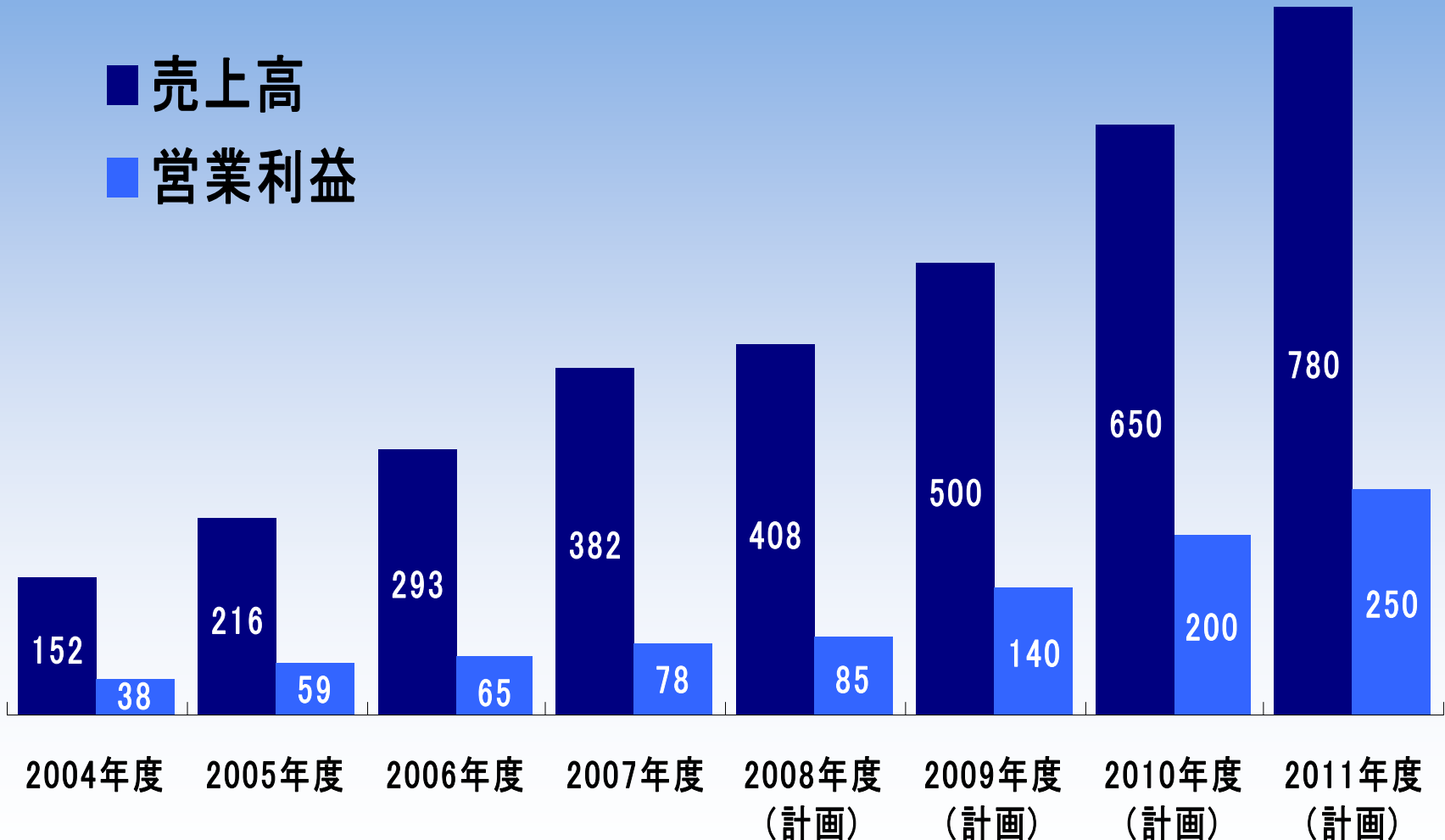
EPSへの影響	減少見込み	増大	増大	増大
---------	-------	----	----	----

Scieleの継続的な成長

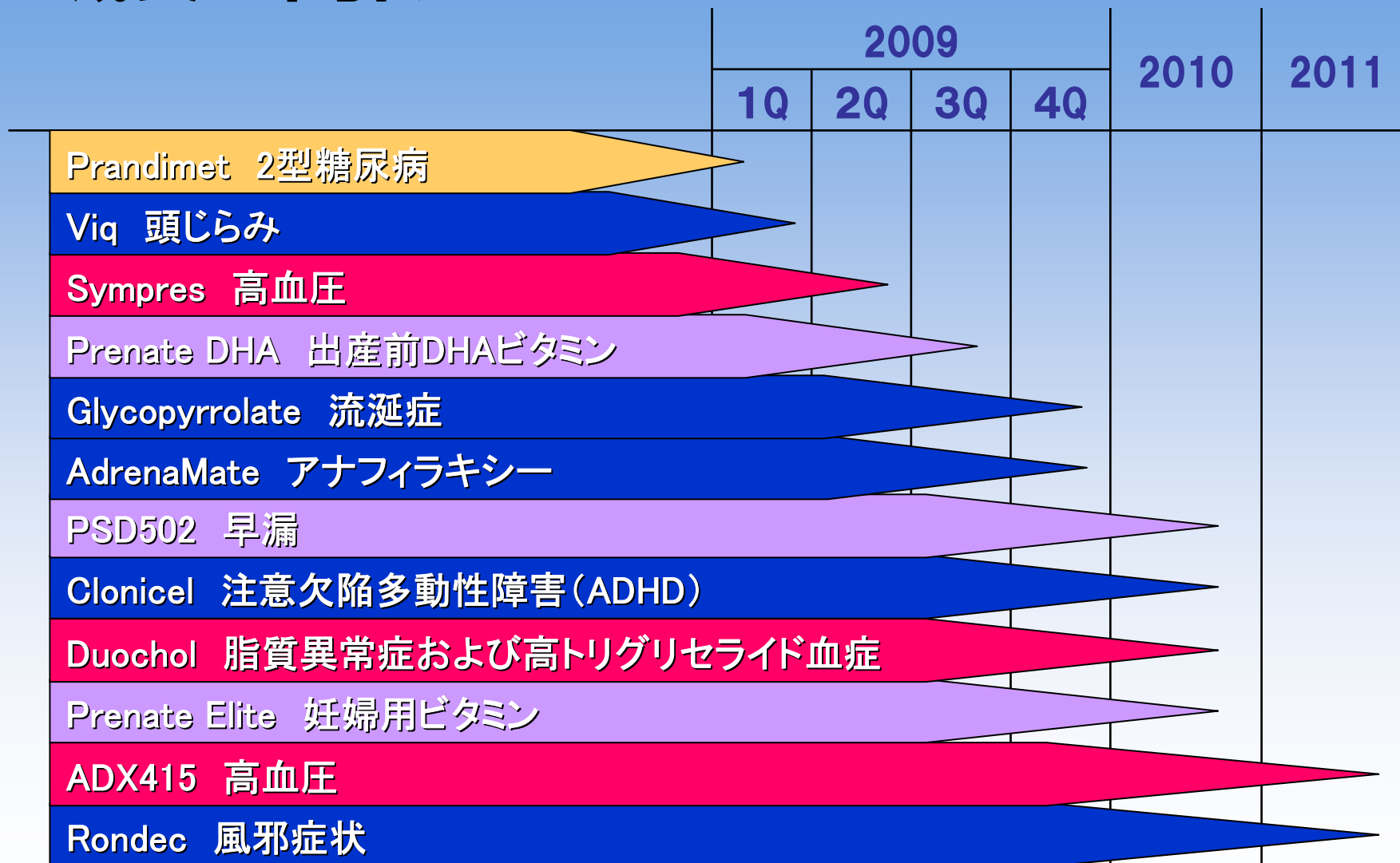
< Sciele社業績予測 >

(単位: 百万ドル)

- 売上高
- 営業利益



成長を牽引するパイプライン



第二次中期経営計画の達成へ向けて

- 研究開発領域への一層の傾注
 - S-2367 / S-349572 / S-777469
 - S-555739 / S-888711
 - 今年度中に更に3化合物のPhase I を予定
- 国内販売の着実な進展：SFEの向上へ向けて
 - クレストール[®]、イルベタン[®]
 - 新製品群：フィニバックス[®]、ディフェリン[®]、ピレスパ[®]
- Sciele Pharma：2009年度からの業績貢献